

修了評価の方法

評価基準作成者： 金城 秀樹

評価方法及び合格基準	<ol style="list-style-type: none">1 出題範囲 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から 「(9) ことごとからだのしくみと生活支援技術」までとする。2 出題形式 1～5の選択問題3 出題数 ※全問題100点満点 20問(1問5点)4 合否判定基準 60点以上5 不合格になったときの取扱い<ul style="list-style-type: none">・ 結果発表後、直ちに1時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は60点(60%)以上とする。補習料：2,000円 再評価料2,000円<ul style="list-style-type: none">・ 再試験を最大2回まで実施する。(2回目の補習、再評価は、後日実施する)なお、2回目再評価の結果、不合格であった者は未修了生として扱う。
------------	--

修了評価の方法

評価基準作成者： _____

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) こころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。・ ○○テキスト○ページから○ページまでの間で出題する。 等々 <p>2 出題形式</p> <p>四肢択一形式及び記述形式とする。 等々</p> <p>3 出題数</p> <ul style="list-style-type: none">・ 択一問題○問(配点○点)、記述式問題○問(配点○点) 全問正解：○点満点・ 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から○問 等々 <p>4 合格判定基準</p> <p>6割以上とすること。</p> <p>5 不合格になったとき</p> <ul style="list-style-type: none">・ 結果発表後、直ちに○時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は○点以上とする。 補習料：1時間あたり○円 再評価料○円・ 再試験を最大○回まで実施する。 なお、再試験の結果、不合格であった者には・・・ 再試験料：1回あたり○円・ 不合格者には、修了評価者が直ちに個別指導を行い・・・ 等々
------------	--

6割以上とすること。

不合格者には、補習のうえ再評価を実施すること。
再評価の手法は事業者に委ねる。